

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：中国を地理学から考える ILAS Seminar :Introductory Seminar - Thinking China from a geographical perspective		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,KOJIMA YASUO	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 10 (10)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Mon.5
Classroom	Seminar room 24, ILAS Bldg.			Language of instruction	Japanese
Keyword	人文地理学 / 地域研究 / 中国				

(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)

[Overview and purpose of the course]

テーマ：地域を共感的に理解するー中国をフィールドとしてー

地域は多様で重層的です。その多様性は、近代には地理教育として学びの対象に据えられました。そしてグローバル化が進展する現在、世界はフラット化するという楽観論とは裏腹に、地域の持つ意味、そして地域を理解する必要性はむしろ増大しています。地理学とくに地域地理学は地域を調べ、考え、そして伝えることに取り組んできましたが、この授業では、地理学の基本的な方法をめぐる、中国をフィールドとして、作業とディスカッションを軸としたゼミナールを行います。それを通して海外の地域に関する「共感的理解」とは何か、どうやって共感的理解にたどり着くことなのか、を考えてゆきます。

[Course objectives]

- ・ 地域を考える地理学の基本的な方法を習得する。
- ・ 中国に対する理解を深める。
- ・ ディスカッションする力、プレゼンテーションする力をつける。

[Course schedule and contents]

ゼミナール形式で、授業は進められます。毎回提示される課題に関して、資料の収集や分析といった作業、および口頭発表とそれをめぐるディスカッションを行います。受講生には中国に関する自らの興味関心に基づいてテーマを設定し、その問いを解明してゆくことが求められます。演習のテーマは下の通りです。1テーマあたり1～2回の授業日をあてる予定です。授業回数は15回で、最終回はフィードバックです。

- (1) 「共感的理解」をめぐるディスカッション
- (2) 自ら設定したテーマの本を図書館で探す
- (3) テーマに関連する新聞記事を探し紹介する
- (4) 「隣の中国」についてディスカッション
- (5) 中国を統計を使って考える
- (6) 統計データを用いて地図を描く
- (7) 主題図を用いて考える
- (8) 「基本的事項」について報告する

Continue to ILASセミナー：中国を地理学から考える(2)↓↓↓

ILASセミナー：中国を地理学から考える(2)

- (9) 中国を体験する
(10) 学術論文を利用する
(11) 自ら設定したテーマについて発表する
(12) 総合討論とレポートの提出

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点評価。
討論への積極的な参加（およそ50%）と作業・発表・レポートの内容（およそ50%）によって、総合的に評価します。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

国家統計局編『中国統計年鑑』（中国統計出版社）（中国語と英語で書かれた、中国の現状を知るための基本的な統計書。図書館で閲覧。）

[Study outside of class (preparation and review)]

毎回の授業で課題が提示されるので、次回授業までにそれに取り組むことになります。また、授業の最終段階では、口頭発表とそれをもとに簡明なレポートをまとめることになりますので、中国に関して何をテーマとするか自ら考えてゆくことが求められます。

[Other information (office hours, etc.)]

ゼミナール形式で行うことから、毎回出席できることを前提とします。それは、自らの作業・発表だけでなく、他の受講生の作業を見たり、発表を聞いて討論することが、ゼミナールの重要な過程となるからです。